

クラス	301	担当教員	小川しおり
テーマ	児童期・青年期の発達と心の理解		
著書・論文 研究課題等	<p>著書：「臨床児童青年精神医学ハンドブック」（共著）西村書店、2016年、 「幼稚園・保育園児 集団生活で気になる子どもを支える」（共著）明石書店、2016年、他</p> <p>論文：「児童期の不安（子どもの不安、親の不安）を扱う」精神療法 第45巻5号、2019年 「自閉症を持つ子どもと大人のよりよい未来のために—ASD を高率に呈するゲノムバリアントに起因する疾患を中心に」医学のあゆみ vol.268 no.3、2019年、「ICD-11における神経発達症群の診断について—知的発達症、発達性発話又は言語症群、発達性学習症など」精神経誌 vol.240 no.10、2022年、他</p> <p>研究課題：ゲーム依存に関する心理・教育系の大学生を対象としたアンケート調査、自閉スペクトラム症を持つ若者の移行期支援に関する研究～社会的孤立の予防と多様な社会的ネットワークの構築に向けて～、外国にルーツのある発達障害児の支援、他</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：児童精神医学、学校精神保健、発達障害、育児支援、不登校、職場のストレス			
<p><目的・内容> 医療・福祉・教育現場での適切な心理社会的支援について学ぶことを目的とします。今日の社会におけるメンタルヘルスの課題や展望について議論し、文献や事例を通して考察を深めます。</p> <p><学習目標> *様々な精神疾患の心理学的特徴を把握し、その知識を心理療法的アプローチに応用することができる。 *体験学習や学外活動等での観察と関わりから得られる気づき・洞察を言葉で表現する。 *人前で感想や意見を伝える・質問をする、プレゼン資料を作成し発表することに慣れる。</p> <p><授業計画> 3年次はグループでの作業・活動が主となります。事前・事後学習を通して、自分の興味のあるテーマを見つけ深めていきます。卒業研究のテーマに関連して文献検索を行い、調べた内容を発表し共有しながら、研究の進め方を学び、研究計画を練ります。4年次にはそれぞれのテーマに沿って問題、目的および方法について検討したうえで実際の調査・研究に着手し、卒業論文をまとめていきます。</p> <p>担当教員は大学病院、精神科病院、療育センター等にて精神科医師として勤務し多職種からなるチーム医療の経験を積むとともに、地域の福祉・教育機関との連携を通して育児・発達支援に力を入れてきました。具体的な事例や最新の知見を取り入れることで、臨床現場での出会いを学生の皆さんに生き生きと実感してもらい、アセスメントと心理支援について一緒に考え議論していきたいと思っております。皆さんの身近な経験から興味を持ったトピックを掘り下げたいけるよう話題提供ができればと考えています。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>単位取得については特に3年時は出席を重視します。いろいろな個性の人が安心して暮らせるようになること、世の中を良くすることに少しでも貢献できるような研究につながるように根気強く取り組んでいけたらと思います。</p> <p>ゼミでは、学び方を学び、発見や探求の楽しさ・感動を体験できると素晴らしいと思っております。「よく学んだ人間ではなく、学びつづける人間を育てること」が重要という思いでサポートしていきます。ゼミ担当は3年目とまだ経験が浅いため、皆さんと一緒に充実したゼミになるよう頑張ります。</p> <p>入ゼミ希望者はエントリー期間に面談（対面または zoom）を行います。事前にメールでご連絡下さい。小川ゼミではメールや LINE で連絡がつくことが条件です（欠席しても連絡がない、メールや LINE をチェックしておらず返信がないのは NG です）。</p>			